

自主臨床研究

血液腫瘍・免疫グループ

小児がんのステージ・治療・再発に関する実態調査

研究の対象

大阪府または東京都在住で、2012年以降新たに診断され、当該都道府県がん登録室に登録された小児がん患者（0-19歳）のうち、治療病院として協力医療機関が登録されているものを対象とする。

研究目的・方法

Population-basedのがん登録（地域・全国がん登録）情報に、トロントステージ・治療・再発に関する情報を追加して収集し、わが国における小児がんの早期診断の割合や、治療・再発状況を把握し、わが国の小児がん医療における課題を抽出することを目的とする。大阪府、東京都内の小児がん拠点病院および小児がん診療施設（医療機関）に協力を依頼する。各医療機関が、がん登録等の推進に関する法律での届出項目と同内容の情報を、自施設の対象患者について取得する。各医療機関において、診療録情報等から、対象患者の診断時のトロントステージ・治療及び再発・生死に関する情報を追加した後、データを匿名化する。研究代表施設は、各施設から、匿名化されたがん情報を収集し、解析する。

プライバシーの保護

登録患者の氏名は参加施設からデータセンター等に知らされることはない。

お問い合わせ先

大阪大学病院小児科
宮村能子